

'93チャレンジカップ。群馬に栄冠輝く!

'93チャレンジカップ結果発表/クラブ別部門

'93年度のCMSCチャレンジカップの結果が右表の通り確定しました。今年は、山形のV7なるか、それともそれを阻止する支部が現われるのかというのが注目的でしたが、昨年度の後半からの勢いを保った群馬がVを獲得しました。目立ったのは、ダートトライアル部門でのポイント獲得で、1位の大井こずゑ選手をはじめ、実に4人もベスト10に名を連ねている点です。やはり、全体のレベルアップがVへと導いたのでしょう。

その他では、今年度から加わった広島が6位にくいこむ健闘をみせています。今年も皆さんの戦いぶりを大いに期待しています。

●クラブ別ポイント		1~5月	6月~8月	9月~11月	12月	計
1位	群馬	477	669	487	63	1696
2位	山形	598	511	411	0	1520
3位	青森	462	471	90	0	1023
4位	岐阜	385	264	272	39	960
5位	帯広	269	429	228	0	926
6位	広島	172	408	286	0	866
7位	福島	173	157	385	0	715
8位	岩手	227	266	194	0	687
9位	札幌	282	315	12	0	609
10位	香川	312	102	50	0	464
11位	島根	163	103	100	15	381
12位	千葉	125	94	154	0	373
13位	大阪	17	62	172	0	251
14位	仙台	29	75	33	0	137
15位	栃木	70	9	36	0	115
16位	愛知	97	5	0	0	102
17位	埼玉	14	10	0	0	24

各部門別チャンプ決定!

- ラリー・ドライバー部門 **札幌 奴田原文雄選手**
- ラリー・ナビゲーター部門 **福島 佐藤忠宜選手**
- ダートトライアル部門 **群馬 大井こずゑ選手**
- ジムカーナ部門 **青森 小館久選手**
- レース部門 **山形 小川日出生選手**

ダートトライアル部門



写真左より
1位 大井こずゑ選手
2位 榎田正文選手
3位 荒井信介選手

毎年激戦のこの部門を制したのは、群馬の大井こずゑ選手。2位には昨年の覇者榎田選手が、また3位には群馬の荒井会長が入りました。大井選手のレディスパワーに圧倒された感じです。

1位	群馬	大井こずゑ	429
2位	岐阜	榎田正文	415
3位	群馬	荒井信介	413
4位	札幌	宝田芳浩	364
5位	山形	赤羽政幸	344
6位	山形	菅野茂	309

ラリー・ドライバー部門



写真左より
1位 奴田原文雄選手
2位 岩根つもる選手
3位 勅使川原光選手

スタートから大きくリードをとった奴田選手がそのままの逃げきり。広島の岩根選手が終盤追いあげて2位。2位から4位までの差は何と6ポイントと言う激戦でした。

1位	札幌	奴田原文雄	210
2位	広島	岩根つもる	168
3位	千葉	勅使川原光	164
4位	帯広	小林康弘	162
5位	千葉	丹羽浩道	126
6位	山形	渡辺俊昭	112

ジムカーナ部門



写真左より
1位 小館久選手
2位 須田行雄選手
3位 上泉晃祥選手

昨年同様、小館、須田両選手の戦いでしたが、軍配は小館選手に。須田選手は昨年より差は詰めたものの惜しくも2位。3位には須田選手と同じ福島の上泉選手という結果でした。

1位	青森	小館久	322
2位	福島	須田行雄	282
3位	福島	上泉晃祥	176
4位	島根	杉坂啓一	64
5位	山形	鈴木日出明	57
6位	青森	葛西満	56

ラリー・ナビゲーター部門



写真左より
1位 佐藤忠宜選手
2位 岡田祥昌選手
3位 伊吹浩明選手

昨年同様、佐藤選手が後半追いあげての連覇。2位にはこれまた広島の岡田選手。3位には帯広の伊吹選手が4位以下には72ポイントの差をつけての粘り込みをみせました。

1位	福島	佐藤忠宜	202
2位	広島	岡田祥昌	168
3位	帯広	伊吹浩明	146
4位	広島	近藤佐江子	74
5位	愛知	朝岡達也	70
6位	山形	今野泰正	64

レース部門



写真左より
1位 小川日出生選手
2位 今野広志選手
3位 瀬在仁志選手

この部門は、王者小川選手がインターナショナルレースに参戦しつつも連覇を達成。2位には仙台の今野選手が、3位には昨年4位の瀬在選手がくい込みました。

1位	山形	小川日出生	88
2位	仙台	今野広志	42
3位	埼玉	瀬在仁志	24
4位	仙台	高橋滋	12
4位	群馬	荒井信介	12
6位			

各部門チャンプのコメント

クラブ別部門

CMSC群馬 荒井 信介選手

常勝していたCMSC山形さんをやっ
と抜くことができ、念願の初勝利を
達成できました。また、部門チャン
ピオンも一人出せ、クラブ員全員の
努力の結果だと大いに喜んでいま
す。94年も全員でポイントを稼ぎ出し、
狙うはV2です。どうぞ宜しくお願い
致します。ありがとうございました。

ラリー・ナビゲーター部門

佐藤 忠宜選手

2年連続の表彰で非常に光栄です。
93年はCMSC千葉の勅使川原光選手と
ギャランでニュージラードラリー
に出場、18位で完走することができ、
とても印象深い年でした。この時に
は、CMSCのクラブ員やラリーアート
の方々にもいろいろバックアップし
て頂き、感謝しています。もちろん
94年も目いっぱい頑張ります。

ダートトライアル部門

大井 こそゑ選手

ダートラを始めて6年、昨年から
ランサーに乗り換えて参戦しました。
それまではずっとギャランに乗っ
ていたのでギャラン以外の車に乗るの
は初めてで、なかなか慣れずに最初
はかなり苦労しました。でも今はと

てもランサーが好きです。

今年もランサーでもっと速くなれ
る様に、たくさん練習して、たくさ
ん走りたいと思います。

ジムカーナ部門

小館 久選手

ジムカーナ部門1位になれて喜ん
でいます。92、93年はC53Aミラージュ
でエントリーして来ましたが、94
年はCD9Aランサーで走ります。チャ
レンジカップも続けて1位になれる
よう頑張りますが、全日本でも1位
を目指して走りたいと思っています。

レース部門

小川 日出生選手

93年もレース部門でチャンピオン
になることができました、誠に光栄
に存じます。が、私としては不満の
残る1年でありました。

94年はランサーエゴIIでN1耐久シ
リーズに参戦の予定です。プライベ
ート参加ですので予算も限られてお
りますし、時間も限られております。
こんな中で自分なりに納得のいくレ
ースができればと思っております。
若い人たちに負けぬ気力で、常に
チャレンジ精神を持ち続けていき
たいと思います。

ラリー・ドライバー部門 奴田原選手のコメントは右ページのレポートをお読み下さい。

部門別7位以下の成績

ラリー・ドライバー部門

7	三谷 義和	千葉	80
8	中島 律	広島	74
9	鷲見 宏康	岐阜	67
10	対馬 雅人	青森	60
11	中田 裕二	大阪	56
12	宮部 俊典	栃木	43
13	大島 勝司	群馬	40
14	平原 和幸	広島	38
15	館山 正嗣	青森	34
16	角田 透	群馬	30
16	青沼 達也	帯広	30
18	福本 光志	帯広	25
19	大西 康弘	青森	24
20	大井 こそゑ	群馬	23
21	本田 弘	岐阜	22
22	大澤 克行	帯広	20

ラリー・ナビゲーター部門

7	対馬 隆志	青森	60
8	内田 昭佳	群馬	44
9	青木 功	栃木	43
10	横田 浩一	広島	38
11	永沢 裕之	青森	34
12	中村 洋次	帯広	31
13	金子 弘	群馬	29
14	間宮 宏幸	岐阜	19
15	生井 史枝	帯広	16

ダートトライアル部門

7	北村 和浩	岐阜	302
8	大井 義浩	群馬	270
9	岩田 恒廣	群馬	240

10	及川 光政	岩手	227
11	岩根 つもる	広島	222
12	高竹 優之	香川	220
13	鈴木 功敏	山形	212
14	杉山 敏雄	山形	204
15	小山 尚二	岩手	190
16	館山 正嗣	青森	178
17	国谷 益雄	島根	150
18	青沼 達也	帯広	141
19	馬 淵 貴則	帯広	117
20	砂塚 明男	山形	110
21	福士 文秀	青森	100
22	小出 久美子	大阪	98
23	針田 信夫	岐阜	89
24	鈴木 優志	岩手	70
24	四戸 岳也	岩手	70
26	平原 和幸	広島	63
27	細川 英昭	香川	60
27	梁瀬 敏規	群馬	60
29	中島 辰美	帯広	59
29	森 新次	香川	59
31	山口 義則	帯広	50

ジムカーナ部門

7	青沼 達也	帯広	38
8	斉藤 剛栄	青森	27
8	鈴木 正孝	福島	27
10	伊藤 良伸	島根	25
11	植田 智則	島根	23
12	坂本 均	青森	22
13	荒井 信介	群馬	20
14	北脇 幹人	島根	19
14	古藤 浩美	島根	19



ウインターラリーだけで今回で9回目を迎えた'94
ダイヤスターウインターラリーは今年もB・C地区第
1戦として1月22、23日、例年と同じ青森県岩木町
を中心として開催されました。

ここ数年は暖冬少雪でしたが、今年は寒さも厳しく
昔に戻ったように雪の量も多くウインターラリーには
最高でした。しかし一部SSコースでは開会式を開
いている最中もクラブ事務局長の館山氏を含めた数名
が必死に除雪作業を行い、無線でコースクリアー
の一報を聞いた時は、正直、これでラリーのスタート
が出来ると思いうれしかったです。参加台数はここ
数年続いたフルグリッド(60台)にはなりません
でしたが、54台とまあまあといったところでした。昨今の
不況風の中でこれだけの参加台数ですから、参加
クルーには感謝したいと思います。

さてラリーは例年スタート場所としてなじみとなつた
岩木町役場前を午後5時01分、前年度B・C地区
チャンピオンの勅使川原選手のランサーからスタート。
約270kmのスノーロードへ向かいました。

1ステはラリー区間とSS区間を程良い感じで設

厳しかった雪との闘い!



定。エントラントからは「リズムがあり飽きる事なく走
れる」と言う声も多く、コース設定、ラリー設定をし
たクラブ員は苦労を忘れる思いだったのではないで
しょうか。ラリーは第2ステージに入り雪も降り寒さも
厳しく、オフィシャルを努めたクラブ員は大変でしたが、
ノミス、ノトラブルで終了、ゴール会場へ入りました。

暫定結果発表も順調に進み表彰式もスケジュール
通り行われました。長い間ウインターラリー開催を続
けてきて、ウインターラリーコース設定のマンネリ化を
防ぎ、より質の高いラリーを目指してきました。今回
をもってウインターラリーは一応ひと休みしますが、こ
れからもラリーは続けて(夏のラリー)行きますので全
国CMSCの皆様よろしくお祈りします。



写真左上、スタート
ゲート前にオフィシ
ャル集合。写真左下、
エントラント受付の
CMSC青森ファンクラ
ブのレディ達。



写真右上、車検風景。写真右下、三菱賞1位加藤選手、2位近藤選手、3位勅使川原選手。

最後にウインターラリー成功の為に何ヶ月も前から
準備してくれたクラブ員と、厳しい寒さの中オフィシ
ャルを努めてくれた皆さんの仲間に感謝したいと思います。
又、厳しい経済状況の中でラリーをご支援頂
きましたラリーアート様を始めご協賛各社の御厚意に
は、心から感謝しております。今後も足元を見直しラ
リーを続けたいと思いますので、よろしくお祈りします。

(CMSC青森 鶴ヶ谷慶市)